

私の社会人生活

第2期 OB 梶山 啓介

小野晃典研究会を卒業してもう少しで3年が経ちます。私は他の同期よりも少しだけ長く、3年間小野晃典研究会で過ごさせて頂いたので、ちょうどゼミ生として過ごした時間と社会人として過ごしたが時間が一緒になります。その意味では、卒業してからを振り返る、いいタイミングなのかもしれません。

小野研究会を卒業したのち、「営業」と「海外」という自らの希望から、シティバンク、エヌ・エイ（現在はシティバンク銀行株式会社）に就職しました。シティバンクでは銀行窓口から資産運用の営業（テレマーケティング）を経験し、2006年12月に退職。翌年1月より、前職の同期とともに、株式会社エッジコネクションを立ち上げました。会社を設立してから1年弱、烈火のごとく時間が過ぎていきます。ちょうどそれは、大学3年時に小野晃典研究会で過ごした生活と似ているかも知れません。次から次へと出される課題文献と、隔週ごとにあるケース、ディベート。そしてグループワークの後の飲み会。なんだか、また小野晃典研究会に戻った気分です。



代表取締役社長

ただ、ひとつ大きな違いがあります。それは、ゼミ時代の私にとっての小野先生の存在です。今の会社に、小野先生のように親身になり方向性を示して頂ける存在はなく、会社の代表である私とその重責を担っていかねばいけません。今になって、当時の小野先生の偉大さを感じると共に、小野晃典研究会の創成期にゼミ生として在籍できたことを誇りに思います。そして、誇りに思うと同時に、創りだした組織を「継続すること」の重要性強く感じています。

先日、ある経営者のセミナーで「継続すること」の重要性を聞く機会がありました。どんなに小さなことでも続けていくことで、周りから認められ、社会的な意義が存在しはじめる。ベンチャー企業といえば、ITに代表されるような派手なイメージが今でもありがちですが、実際に自分が経験してみて感じることは、この「継続すること」の重要性です。日々の活動を一生懸命行い、社員はもちろん、よき理解者を一人でも多く増やしていくこと。これを今の会社のテーマとして掲げています。そしていつの日か、継続した成果を、将来の小野晃典研究会のゼミ生に対して話す機会があればいいなと思っています。